

令和1年度 自己評価

学校法人 瑞垣学園
宮の杜神明こども園

1, 本園の教育目標

一人ひとりの子どもの個性を大切に、園独自のカリキュラムも取り入れ、自立できる子どもの育成を目指し、体の力・学ぶ力・心の力を養い、幼児期に大切な精神的自立の基礎作りを目標とする。

2, 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・様々な遊びや経験を通して、豊かな感性を育む。(0～2歳)
- ・友だちとの共同生活によって社会性・克己心・自己表現力などを習慣づけ、就学前の基礎となる力を培う。(3～5歳)
- ・運動を通して挑戦心・努力心・達成感等を養い、しなやかな体と心を培う。
- ・絵画や造形に取り組み、創造力を伸ばす教育活動を行う。
- ・歌や合奏の音楽遊び、劇遊びを通して発達段階に応じた表現力を養う。
- ・読み、書き、計算を通して読解力、表現力、想像力を養う。

3, 評価項目の達成状況及び評価

Q1、園の基本姿勢についての項目 総合評価 A・B・C

- イ、園の教育保育理念や目標及び本年度重点事項を理解している。
A・B・C
- ロ、個人情報適切に取り扱おうと共に、保護者からの苦情に対しその解決を諮るよう努めている。
A・B・C
- ハ、就業規則などの諸規定を理解し、業務遂行にあたって正確・迅速に報告・連絡・相談・確認を行っている。
A・B・C

Q2、教育保育の内容等に関する項目 総合評価 A・B・C

- イ、年間指導計画と連携した月案・週案指導計画を作成し、適切な指導が

- 行われている。 A・B・C
- ロ、指導計画作成にあたって具体的なねらい及び内容を明確に設定し、適切な環境を構成することなどにより活動が子どもによって選択・展開されている。 A・B・C
- ハ、園児の健康状態や発育及び発達状態について、定期的・継続的にまた必要に応じて随時把握している。 A・B・C
- ニ、施設内外の設備・遊具等の安全及び衛生点検を行っている。 A・B・C
- ホ、災害発生時に備え、その対処法の確認及び職員の役割、避難訓練等定期的に行われている。 A・B・C
- ヘ、園児の日々の様子の伝達及び教育・保育の意図の説明等、保護者との相互理解に努めている。 A・B・C
- ト、地域における乳幼児の教育・保育の中心的な役割を果たすよう努めると共に施設等子育て支援の総合的な提供を行っている。 A・B・C

Q 3、園独自の取り組みに関する項

総合評価 A・B・C

- イ、ヨコミネ式幼児教育の目的を理解している。 A・B・C
- ロ、年齢に応じたヨコミネ式指導が行われている。 A・B・C
- ハ、個々の発達に応じた指導及び引き上げ等に努めている。 A・B・C
- ホ、「ほめ育」を理解している。 A・B・C
- ヘ、「ほめ育」を実践している。 A・B・C

令和1年度 自己評価 まとめ

Q 1	総合評価	A	13			
		B	10			
		C				
Q 1-イ	A	13	B	10	C	
	ロ	A	13	B	7	C
	ハ	A	13	B	11	C

Q 2	総合評価	A	7			
		B	15			
		C				
Q 2-イ	A	4	B	11	C	
	ロ	A	9	B	10	C
	ハ	A	12	B	10	C
	ニ	A	10	B	10	C
	ホ	A	14	B	8	C
	へ	A	13	B	6	C
	ト	A	4	B	11	C

Q 3	総合評価	A	8				
		B	15				
		C					
Q 3-イ	A	10	B	12	C	1	
	ロ	A	6	B	12	C	
	ハ	A	8	B	11	C	1
	ニ	A	11	B	12	C	
	ホ	A	7	B	15	C	1

<評価・反省>

- 1, 本年度重点的に取り組む目標・計画と設問内容がマッチしてない部分があったので、次年度は設問内容を検討したい。
- 2, Q 1については大方理解されているがA評価がもっと増えるよう各自の努力が必要である。
Q 2についてはB評価が多いので一つ一つの項目を理解し実践していくよう努める。
Q 3についてはヨコミネ指導ができる保育士を充実させ未満児から指導できるよう、また「ほめ育」についても積極的な活動ができるようやり方の工夫が必要である。